



# 設楽ダムだより

第184号

新年特集

2026.1

ダムサイト  
2025.12時点

## 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、設楽ダム建設事業に格別のご理解とご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年の当事務所の工事を振り返ると、ダム本体工事による本体基礎掘削工事、土砂を川向地区に運搬盛土する工事、新設楽大橋や新松戸橋の架橋工事など目に見える形で事業が進みました。

また、地域振興についても、水源地域である設楽町がますます活力ある魅力的なまちとなるよう、「設楽夜市」や「アウトドアカレッジ×遊べる建設企業展」などの取り組みも設楽町をはじめとする関係機関や施工者との連携・協力のもと進めてきました。

本年も引き続き工事を進めてまいりますが、特に主要県道設楽根羽線については、令和8年度の一部暫定供用に向けて一日も早く供用ができるよう、取り組んでまいります。地域振興については、見学者の増える数年後のダム本体のコンクリート打設工事に向けて設楽町外からの交流人口が増え、地域の活性化に寄与できるよう、取り組んでまいりたいと考えています。

本年も皆様のご期待と信頼にお応えできるよう、職員一同、誠心誠意取り組んでまいります。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、本年が希望に満ちた一年となりますことを祈念いたします。

国土交通省中部地方整備局  
設楽ダム工事事務所長

館井 恵



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、コメ価格の上昇をはじめとする物価高騰など、私たちの暮らしには依然として厳しい状況が見られた一方で、政治・社会においては女性初の内閣総理大臣が誕生するなど、新たな節目となった一年でした。

設楽町におきましても、合併20周年や町長選挙の実施など、町の歩みにとって重要な節目を迎えた一年であり、町の未来に向けた新しいスタートを実感する年となりました。

設楽ダム建設事業では、ダム本体工事や付替道路工事が着実に進んでおり、日々変化する町の姿に、私自身も大きな期待を寄せております。

また、国、県、ダム関係の民間企業、そして地元の皆様にもご協力いただき、「アウトドアカレッジ×遊べる建設企業展」や「設楽夜市」をはじめ、設楽ダムの認知度向上と地域活性化に寄与するイベントを開催したところ、町内外から多くの方にご来場いただきました。関係者並びにご来場の皆様に、心より感謝申し上げます。

本年も、皆様との対話を大切にしながら、ダム完成を見据えた「住民が主役となるまちづくり」を進め、設楽町の新たなステージを皆様とともに築いてまいります。

結びに、皆様にとって、また設楽町にとっても輝き続けられる1年となりますことをご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



設楽町長 土屋 浩

# 第45回ダム建設功績功労者表彰式

2025年12月1日、設楽ダム建設事業に著しく功績があったとして、中部地方整備局が推薦した元設楽町長の加藤和年氏がダム建設功績功労者表彰を受けられました。

表彰者を代表した加藤氏は『「ダム問題を解決し、乗り越えていかなければ設楽町の発展はない」と思い、この難題を前向きに考え、町の責任者として設楽町の将来の発展と町民の幸せを守るためにも、苦渋の選択としてダム建設同意を決断しました。水源地の設楽町に暮らす者としては、工事が目に見える姿となり、少子高齢化や人口減少を抱える地域にとっては明るい兆しが語られるようになりました。また、流域全体に安全と安心、恵みをもたらすことも期待されダム事業に関わった元町長として喜ばしいこと思います。』と謝辞を、日本ダム協会会長の押味氏はダム建設促進のために尽力いただいたことへの感謝を述べました。



功労者代表として謝辞を述べる加藤元町長



押味日本ダム協会会長(左)と加藤元町長(右)



用地関係の表彰者

左から石田氏(元鳴瀬川総合開発工事事務所副所長)、日置氏(前郡上市長)、加藤夫妻(元設楽町長)、吉良夫妻(前南阿蘇村長)

## ダム建設功績功労者表彰とは？

昭和49年に発足した一般財団法人 日本ダム協会がダム事業の推進に寄与するため昭和56年度より始めた取り組み。当初はダム事業の用地、施工、環境関係で尽力した団体を表彰していたが、平成26年度からはダムの上下流交流に尽力した個人または団体に対しても表彰を行うようになった。

# 東堂神社合祀式

2025年12月7日(日)、東堂神社にて合祀式が行われました。東堂神社は役場から国道257号を北へ約5km進んだ場所に位置しますが、設楽ダムの付替道路工事に伴う用地取得にご協力いただいたため、この度、御神体を白山神社へ遷座されることになりました。

東堂神社がある川向地区の住民の皆様にはすでに移転にご協力いただきしており、神社だけが取り残されてしまっている状態でしたので、御神体の移動が終わり、本式典にご出席された元住民の皆様はほっとしたご様子でした。神社の建物等につきましても、今年度末に移転を予定しております。



東堂神社での典礼



東堂神社本殿から御神体を移動



白山神社本殿へ御神体を移動

## 新松戸橋がまもなくつながります！

付替県道瀬戸設楽線5号橋「新松戸橋」は、橋長が384mあり、設楽ダム建設事業の中では最長の橋梁です。本橋は2025年3月ごろから上部工の施工が本格化し、橋脚と橋脚の間を徐々に伸ばしていく形で工事を進めておりましたが、いよいよ大詰めです。

2025年末に中央部が残すところ3mになり、両端部も順調に施工を進めています。無事に工事が完了できるよう、最後まで気を引き締めて安全管理を徹底してまいります。引き続き工事へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



2024. 01時点



2025. 04時点



2025. 10時点



2026. 01時点

付替県道瀬戸設楽線5号橋「新松戸橋」

## 2/26(木)、27(金) 設楽ダム工事現場見学会を開催します！



設楽根羽線3号橋「滝坂橋」



設楽根羽線4号橋「大平橋」

地元住民の皆さんを対象に、現場見学会を以下の日程で現場見学会を開催します。

- ・開催日時：2月26日(木)・27日(金) 午前の部(10時～)、午後の部(13時30分～)  
※前回は11月21日・22日に開催
- ・集合場所：設楽ダム工事事務所 広報展示室前
- ・見学場所：ダム本体掘削・設楽根羽線
- ・参加方法：以下のWEB申込サイトに2月10日(火)までにお申込み内容の登録をお願いします。  
<https://www.cbr.mlit.go.jp/shitara/jyumingeba/index.html>

## コラム03 堤体コンクリート

ダム本体工事

&lt;工事の流れ&gt;

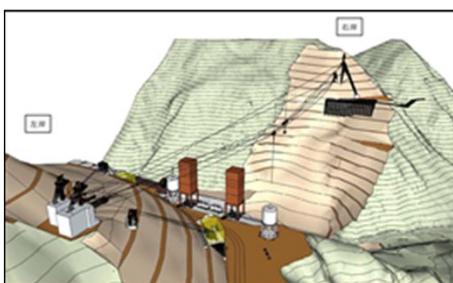
堤体コンクリートについて

設楽ダムは約9,800万tの水を貯める高さ129mの重力式コンクリートダムであるため、堤体に使用するコンクリートは強度だけでなく、重さが重要です。必要十分な重さを確保するため、一般的にまちで使用されているコンクリートよりも骨材量が多い超硬練りのコンクリートを堤体コンクリートとして使用します。

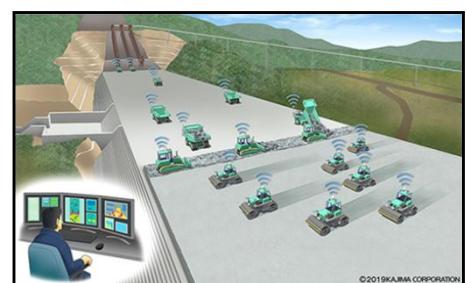
骨材は、設楽ダム建設予定地から豊川(寒狭川)を上流へ約3.5km上がった位置にある原石山で良質な岩石を採取し、原石山の麓に建設予定の骨材製造設備(碎石工場と同等の設備)で破碎・粒度調整して製造します。製造した骨材は、ダム左岸天端に建設予定のコンクリート製造設備(生コン工場と同等の設備)に運搬し、水・セメント・混合剤と練り混ぜてダム堤体用のコンクリートを製造します。設楽ダムでは、建設機械の自動運転を核とした自動化施工システムを採用し、少ない人数で複数の自動化建設機械を動かし、安全に施工を行う予定です。



原石山と骨材プラント R7.12時点



コンクリートの運搬イメージ



自動化施工システムによる施工イメージ

資料提供:鹿島・戸田・竹中土木特定建設工事共同企業体



国土交通省中部地方整備局 設楽ダム工事事務所

HP <https://www.cbr.mlit.go.jp/shitara/>

## 新城庁舎

〒441-1341 新城市杉山字大東57

総務課 TEL (0536)23-4331 FAX (0536)23-4401

用地第一課 TEL (0536)23-4387 FAX (0536)23-4408

用地第二課

## 設楽庁舎

〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字川原田1-2

工務課 TEL (0536)62-1290

調査課 TEL (0536)62-1292 FAX (0536)62-1291

工事課 TEL (0536)62-1293